

## マーケットの動き（2023年8月7日～8月11日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。週前半は、米国地方銀行の格下げやイタリアでの銀行に対する追加課税、7月中国貿易統計の低調な結果などが投資家のリスク回避姿勢を強め、米国債券は買われました。週後半は、米国30年国債入札の低調な結果や7月米国PPI（卸売物価指数）が市場予想を上回りインフレ圧力の根強さを示したことなどから、債券は売られました。欧州国債市場は、おおむね米国に連動した推移となりました。

## 投資環境見通し（2023年8月）

## 長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに小幅に低下

**米国：**インフレ率の鈍化傾向を受けて金融政策については引き締め観測が後退するとみられますが、景気については底堅い経済指標から軟着陸するとの見方もあり、長期金利は小幅の低下にとどまるとみられています。

**欧州：**依然としてコアCPI（消費者物価指数）は目標インフレ率を大幅に上回っていることや、賃金上昇圧力に対する警戒感を背景に、ECB（欧州中央銀行）は金融引き締め姿勢を続けることとみられます。しかし、足元では景況感が悪化しており、インフレ率の鈍化を受けて来年にはECBが利下げに転じるとの見方もあり、ドイツ長期金利は小幅に低下するとみられています。

|                                  | 8月11日  | 変動幅（騰落率） |       |        |       |
|----------------------------------|--------|----------|-------|--------|-------|
|                                  |        | 前週比      | 1カ月前比 | 6カ月前比  | 1年前比  |
| 10年国債利回り（米国、%）<br>（変動幅）          | 4.17   | 0.11     | 0.19  | 0.43   | 1.27  |
| FTSE世界国債インデックス<br>除く日本、円ベース（騰落率） | 544.81 | 1.37%    | 2.75% | 10.27% | 4.71% |

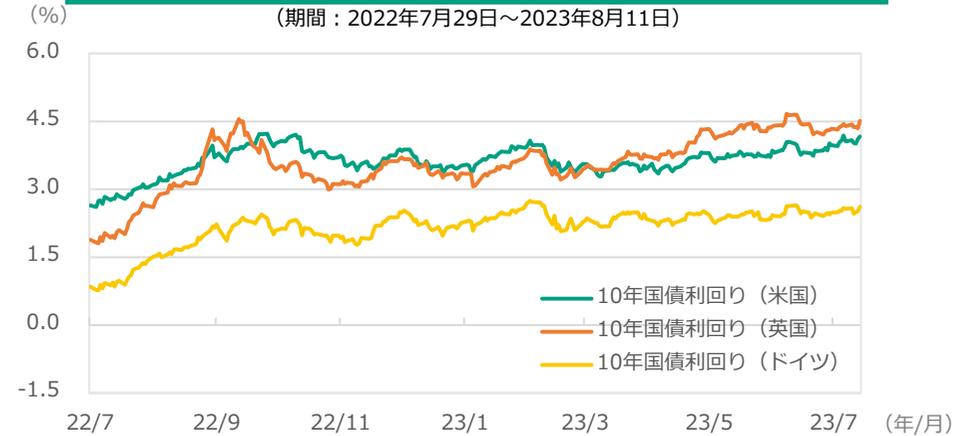
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202308\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202308_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 主要国国債利回りの推移



## FTSE世界国債インデックスの推移



※2022年7月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成